



五木東小 第26号

学校便り
文責
生田 文明

もちつき・門松づくり



十四日(土)は、保護者、地域老人クラブの皆様のご協力のもと、正月を迎える準備としてのもちつき、門松づくりを行いました。

約一斗の餅米をせいろで蒸しあげ、石臼と杵を用い、もちつきをしました。毎年実施しているので、上級生ほど、杵さばきがうまく、みる間に餅米が餅につき上がっていました。

縦割り班でつき上げた餅は、地域の老人クラブの方の指導のもと小さくちぎり、丸めていきました。素早く同じ大きさに小分けし、餅を丸めるおばあちゃんの手さばきに子どもたちは見とれていました。

約五百個の丸餅をつくり、できた餅は、豚汁に入れ、いただきました。また、お土産として、各家庭に持ち帰りました。今回のもちつきは、日本の伝統を学ぶだけでなく、地域の方々との交流を深めるよい機会となりました。ご協力ありがとうございました。

また、立派な門松も正門に設置することができ、お正月を迎える準備が整いました。事前の竹・松などの切り出しから、当日の飾り付け、設置まで保護者の皆様には大変お世話になりました。



授業参観

餅米が蒸し上がるまでの間、保護者、地域の方々に道徳の授業も参観していただきました。今回は、「熊本の心」の副読本を用い、一、二年生は、家族間での思いやり、感謝について「オトトケサボウ」を題材に考えました。三、四年生は、「うちの仕事」という題材で、差別された人の心の痛みを感じ、偏見や差別について考えました。五、六年生は、郷土の発展に尽くした先人の願いや考えを知り、感謝する心情を養うことをねらい「幸野溝」を題材に学習しました。子どもたちの様子はどうだったでしょうか。

今後も、家庭、地域、学校が連携して、子どもたちの心の教育の充実を図っていきましょう。

ケータイ教室

人権教育研修会

十四日(土)午後からは、PTA主催で、KDDIから講師をお招きして、携帯電話・スマートフォン等の安全利用についてのケータイ教室が開催されました。ネット上でのいじめ、また子どもが犯罪に巻き込まれる事件が、問題となっています。そこで、ケータイの安全利用のために、親として知っ



ておくべきこと、しなければならぬことを具体的に教えていただきました。

講話で、「子どもは、親のケータイのパスワードをすでに知っています。」この一言がとても衝撃的でした。子どもがトラブルに巻き込まれないように、ケータイの安全利用について、我が家の約束事を決めてから子どもに持たせるようにしましょう。

ようこそ、さくら組さん

十七日(火)五木村中央保育所の年長さん(さくら組さん)をお招きし、生活科の学習の一環で、「あそび大好き、あつまれ」を行いました。

さくら組さんに楽しく遊んでもらうために、この日に向けて、一、二年生はゲームコーナー(的当て、ボーリング、魚釣り)を工夫して作りあげました。当日は、お兄ちゃん、お姉ちゃんとして、やさしく、丁寧に、園児に遊び方を教え、一緒に遊ぶことができました。大きな歓声が教室から学校中に響きました。遊んでいる様子は、もう立派な一年生です。来春入学してくる日が、今からとても楽しみです。



リサイクル きじ馬こども応援券 の益金で

地域の皆様には、本校のリサイクル活動へのご協力、きじ馬こども応援券の提供、ありがとうございます。今回、これらの益金で、サッカーのゴール用防護マットを注文しました。三学期には、新しい防護マットのもと、安全にサッカーを楽しむことができます。今後も、ご支援、ご協力よろしくお願いします。